

平成23年度第三次補正予算に係る新規事業採択時評価

1. 事業の概要

事業名	東北横断自動車道釜石秋田線（釜石～釜石西）	事業区分	一般国道	事業主体	東北地方整備局
起終点	岩手県釜石市定内町～岩手県遠野市甲子町	事業延長	約6km		
事業概要 目的	<ul style="list-style-type: none"> ・東北横断自動車道釜石秋田線は、釜石市から秋田市を結ぶ約212kmの高規格幹線道路。 ・釜石JCTと東和ICを連絡し、重要港湾釜石港や三陸地方拠点都市地域と、花巻空港や北上中部地方拠点地域、ひいては日本海側の空、海の玄関口である秋田市とを結ぶ東北地方の広域交通網の骨格をなす路線である。 ・本事業は、三陸沖や宮城県沖等の大規模地震による被害発生時の救助・救援活動の支援や緊急物資の輸送、孤立地域の解消等を支える横断軸の基幹道路となるなど、広域的防災の道路ネットワークの強化に資する事業であり、あわせて東日本大震災からの復興や地域振興、新たなまちづくりの骨格をなす事業である。 				
事業費	約200億円	3便益B/C	釜石JCT～花巻JCT:2.4 釜石～釜石西:1.3		

2. 必要性の評価

(1) 課題の整理

評価項目	当該事業地域の課題・上位計画等	
防災・災害時の救助活動等	<p>【i】緊急物資の円滑な輸送の確保</p> <p>【ii】救助・救援活動の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・被災地への救援・救助は縦軸(国道4号等)や後方支援拠点(遠野市)から横軸(国道283号等)により実施 ・(仮)釜石JCT～東和IC間は高規格幹線道路の未整備区間で、現道に交通が集中 ・さらに、大震災後には、現道旅行速度が約3割低下するなど、幹線道路としての機能が低下 ・このことは、被災地と内陸の強力な連携を推進し、早期救援・復旧・復興を図るうえで支障 	<p>※東日本大震災からの復興の基本方針</p> <p>「以下により災害に強い交通・物流網を構築する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三陸縦貫道等の緊急整備や太平洋沿岸と東北縦貫道を繋ぐ横断軸の強化 ・日本海側との連携も含め東北全体のネットワークも考慮したリダンダンシーの確保 <p>※高速道路のあり方検討有識者委員会・緊急提言</p> <p>「広域的な幹線道路ネットワークについては、地域の孤立化や多重性の欠如など災害面からの弱点を再点検し、その克服に向けて、ミッシングリンクの解消や隘路区間の改良など効果的な手法を選択し、緊急性の高い箇所から重点的に強化を行う必要がある。」</p> <p>※岩手県東日本大震災津波復興計画 復興基本計画</p> <p>「復興道路として、高規格幹線道路等の幹線道路ネットワークの重点整備(東北横断釜石秋田線の内陸と三陸沿岸地域を結ぶ横断軸)」</p>
住民生活	<p>【i】救急医療施設への速達性向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・釜石地域の医療圏では心筋梗塞等、対応不可能な疾患があり、岩手医科大学付属病院などの盛岡市方面に約5割を搬送 ・長い搬送時間や安定した搬送に不安を抱える状況 	<p>※東北圏広域地方計画</p> <p>「東北圏では、病院や診療所が特に中山間地域や沿岸地域で不足しており、人口あたり医師数は全国平均をした回っている。また、広い圏土を反映し、第三次救急医療機関の60分到達圏から外れる地域も多い現状にある。」</p>
地域社会・地域経済等	<p>【i】周辺市町村との連携強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現道区間は線形不良箇所などが連続し、釜石～花巻間などの連絡性が低く、地域間の連携に支障を来す恐れ <p>[R<150m:21箇所・I≥5%:7箇所]</p> <p>【ii】産業拠点との連結性向上(分断防止)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大震災からの早期復旧・復興のための産業(線材製造等)の地域産業の再生が必要 	<p>※高速道路のあり方検討有識者委員会・緊急提言</p> <p>「人口減少が進む中、甚大な被災を受けた地域の早期復興のためには、各地域が役割分担をしつつ広域的に連携していくことが必要となる。これを促進するため、各地域を縦に繋ぐことによって、地域間の連絡性を高めることができる「復興高速道路」としての三陸沿岸道路など、太平洋沿岸軸の強化が必要」</p>
その他	-	

(2) 事業の必要性

・「東北圏広域地方計画」や「東日本大震災からの復興の基本方針」「岩手県東日本大震災津波復興計画」等の内容と、当該事業の目的や想定される効果の整合が図れており、東日本大震災被災地と内陸との強力な連携を促進することによる被災地の早期復興の支援、平常時も含めた救急搬送圏域の拡大による安全・安心を確保するため、高規格幹線道路ネットワークを形成し速達性を確保する本事業の実施が必要であるものと評価する。

3. 有効性の評価

(1) ネットワーク上のリンクとしての評価

① 主要都市・拠点間の防災機能の向上					
区間		リンクの評価		効果	評価
		現状 (整備前)	(目標) 整備後		
釜石市 (重要港湾)	盛岡市 (県庁所在地)	D	→ (B) B	・現道は、隘路箇所(幅員5.5m未満)が存在し、近傍の迂回路も脆弱であり災害危険性が高い(Dランク) ・本道路は、釜石市～盛岡市間の最短時間経路となり、災害による通行止めが想定されないことから、当該リンクの災害危険性のないBランクに改善され、地域の孤立も解消。	◎
② ネットワーク全体の防災機能の向上					
リンクの評価			効果	評価	
弱点度 (整備前)	弱点度 (整備後)	改善度			
1.6	1.3	1.3	当該リンクの整備により、釜石市から盛岡市間の災害時の迂回が解消することにより、ネットワーク全体の防災機能向上。	○	

(2) 当該事業としての評価

評価項目	事業による効果	評価
防災・災害時の救助活動等	【 i ）緊急物資の円滑な輸送の確保】 【 ii ）救助・救援活動の支援】 ・沿岸部と災害後方支援拠点や内陸陸部を結ぶ横断軸が強化され、釜石市～遠野市～花巻市間における連絡時間を短縮 ・緊急輸送等の円滑化が可能となり、迅速な復旧活動や被災地域の復興を支援 [釜石～遠野運動公園間:約45分⇒約36分(約9分短縮)]	◎
住民生活	【 i ）救急医療施設への速達性向上】 ・第三次医療施設である岩手医科大学付属病院への所要時間が短縮し、高規格幹線道路の利用が期待されるため、安定した搬送が可能に [釜石～盛岡間:約138分⇒約104分(約34分短縮)]	○
地域経済・地域社会等	【 i ）周辺市町村との連携の強化】 【 ii ）産業拠点の分断防止(分断防止)】 ・急カーブ箇所および急勾配区間の回避により、走行性・安全性が向上 ・高規格幹線道路ネットワークが形成され、釜石市～盛岡市間等の規制速度が改善し、各地域の広域的な連携や、産業に必要な流通強化を期待 ・釜石市～花巻市間の連絡速度が49km/hから60km/h以上に改善される見込み	◎
その他	—	

(3) 事業の有効性

・当該事業の実施により、ネットワーク上のリンクの評価がDランク→Bランクに改善し、防災機能が強化される。 ・さらに、速達性が向上し、「くしの歯」作戦に象徴される太平洋沿岸と内陸部を結ぶ横断軸の強化が図られ、東北地方全体のリダンダンシーの向上につながるなど、有効性の高い事業と評価する。

4. 事業実施環境・第三者意見

事業実施環境	<ul style="list-style-type: none">・道路が通る概ねのルートを発表し、地域の意見を聞きながら、概ねのルート及びIC位置を確定した。・岩手県をはじめ関係市町村は、当該道路を復興道路として位置付け、重点的な予算配分と早期全線整備を図ることを要望している。・2車線整備のため法アセス、条例アセスの基準に該当しないため、これらに基づくアセスは実施しない。
岩手県	<ul style="list-style-type: none">・当該区間の新規事業化と事業推進を強く希望します。
社会資本整備審議会 道路分科会 事業評価部会	「新規事業化については妥当である。」との意見を頂いた。
社会資本整備審議会 地方小委員会	「新規事業化については妥当である。」との意見を頂いた。

5. 対応方針

当該事業により、沿岸部と災害後方支援拠点や内陸部を結ぶ横断軸が強化され、釜石市～遠野市～花巻市間における連絡時間を短縮することや、緊急輸送等の円滑化が可能となり、迅速な復旧活動や被災地域の復興を支援すること、さらに、ミッシングリンクの解消や各地域の広域的な連携に貢献等の効果が認められることから、防災機能の評価結果も踏まえ、当該事業の必要性・有効性は高いと判断できる。

以上より、本事業の新規事業化については妥当である。